

お詫びと訂正

このたびは、日立アドバンスサーバ HA8000/TS20[2014年1月～モデル](以下 システム装置) または HA8000/TS10-h[2014年1月～モデル](以下 システム装置)をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

『ユーザーズガイド』に訂正箇所があります。謹んでお詫び申し上げます。

また、「Windows Server 2008 R2 インストール代行サービス付モデル」の販売開始について本書の巻末に記載しております。ご参照いただきますようお願い申し上げます。

■ユーザーズガイド ～運用編～

- ・ 「4 運用上の注意事項」 「4.3 システムクロックに関する注意事項」 「4.3.1 UTC 設定の注意事項について」 「(2)VMware の場合」 (P.61)

次の内容に変更

VMware vSphere ESXi 5.5 / VMware vSphere ESXi 5.1 / VMware vSphere ESXi 5.0 がサポートするタイムゾーンは、UTC (協定世界時) のみです。このため、ESXi をインストールするシステム装置 (ESXi ホスト) は、システム BIOS の時刻を UTC に設定する必要があります。

システム装置出荷時は、システム BIOS の時刻を JST (Japan Standard Time : 日本標準時) に設定しています。インストール時にシステム BIOS の時刻を UTC に設定しなかった場合、vSphere クライアントで表示される ESXi ホストの時刻が JST より 9 時間進みます。vSphere クライアントから時刻を JST に設定してください。システム BIOS に設定が反映され、システム BIOS の時刻は UTC (JST から 9 時間遅れた時刻) となります。

補足

- UTC は、JST (Japan Standard Time : 日本標準時) から 9 時間遅れた時間です。
- vSphere クライアントは、vSphere クライアントを起動している PC のタイムゾーンを認識し、ESXi ホストのシステム BIOS から得た UTC を元に時刻を補正して現地時間 (ローカルタイム) を表示します。
たとえば、UTC が "9:00" で、vSphere クライアントを起動している OS のタイムゾーンが日本時間 (UTC+9 時間) の場合、vSphere クライアントの時刻表示は "18:00" となります。
- VMware 代行インストールモデルは、出荷時にシステム BIOS の時刻を UTC に設定しています。

なお、VMware vSphere ESXi 5.5 / VMware vSphere ESXi 5.1 / VMware vSphere ESXi 5.0 の運用時、システム BIOS の時刻が JST ではなく UTC となるため、次のイベントの発生日時も UTC で表示されます。運用時に注意してください。

- SVP ログのイベント
- JP1/ServerConductor の SVP 直接通知アラート
- 「Hitachi Compute Systems Manager」に通知されるアラート
- Web コンソール上で表示または取得されるログ (システムイベントログなど)
- SNMP 通報 (送信時刻)

また、Web コンソール上の設定で BMC の時刻を NTP サーバと同期する場合、NTP 時刻は UTC で運用してください。

■ ユーザーズガイド ～BIOS 編～

- 「2 MegaRAID WebBIOS」 「2.3 MegaRAID WebBIOS の設定項目」 「2.3.4 Controller Properties: ディスクアレイコントローラ設定メニュー」 「(1) Properties: コントローラプロパティサブメニュー1」 (P.78、P.79)

誤		
設定項目	設定内容	設定値／表示
N	Spinup Drive Count *3	システム起動時の物理ドライブ起動台数
O	Spinup Delay *3	システム起動時の物理ドライブ起動タイミング
<p>...</p> <p>*5 ディスクアレイコントローラ (内蔵用) [標準搭載] は「1」に、ディスクアレイコントローラボード (外付け用) は「4」に設定してください。</p> <p>*6 ディスクアレイコントローラ (内蔵用) [標準搭載] は「6」に、ディスクアレイコントローラボード (外付け用) は「4」に設定してください。</p>		
正		
設定項目	設定内容	設定値／表示
N	Spinup Drive Count *3	システム起動時の物理ドライブ起動台数
O	Spinup Delay *3	システム起動時の物理ドライブ起動タイミング
<p>...</p> <p>*5 ディスクアレイコントローラ (内蔵用) [標準搭載] は「1」に、ディスクアレイコントローラボード (外付け用) は「4」に設定してください。</p> <p>*6 ディスクアレイコントローラボード (内蔵用) [標準搭載] は「6」に、ディスクアレイコントローラボード (外付け用) は「4」に、ディスクアレイコントローラボード (外付け用: キャッシュバックアップ付) は「2」に設定してください。</p>		

- 「2 MegaRAID WebBIOS」 「2.3 MegaRAID WebBIOS の設定項目」 「2.3.4 Controller Properties: ディスクアレイコントローラ設定メニュー」 「(1) Properties: コントローラプロパティサブメニュー1」 (P.79)

次の補足の内容を削除

...
補足

■ 設定値を変更する場合は、...

■ 「Spinup Drive Count」、「Spinup Delay」の設定は固定されているため、設定値を変更しても反映されません。

- 「2 MegaRAID WebBIOS」「2.8 MegaRAID WebBIOS の設定値」「2.8.2 設定値一覧」(P.139、P.140)

誤	
項目	
Controller Properties	
Properties	
...	
Spinup Drive Count	[1 または 4] *2
Spinup Delay	[6 または 4] *3
...	
...	
*1 ...	
*2 ディスクアレイコントローラボード (内蔵用) [標準搭載] は「1」に、ディスクアレイコントローラボード (外付け用) は「4」に設定します。	
*3 ディスクアレイコントローラボード (内蔵用) [標準搭載] は「6」に、ディスクアレイコントローラボード (外付け用) は「4」に設定します。	
*4 ...	
正	
項目	
Controller Properties	
Properties	
...	
Spinup Drive Count	[1 または 4] *2
Spinup Delay	[6、4 または 2] *3
...	
...	
*1 ...	
*2 ディスクアレイコントローラボード (内蔵用) [標準搭載] は「1」に、ディスクアレイコントローラボード (外付け用) は「4」に設定します。	
*3 ディスクアレイコントローラボード (内蔵用) [標準搭載] は「6」に、ディスクアレイコントローラボード (外付け用) は「4」に、 ディスクアレイコントローラボード (外付け用：キャッシュバックアップ付) は「2」に設定します。	
*4 ...	

■ ユーザーズガイド ～リモートマネジメント編～

- ・ 「4 Web コンソールの使用方法」 「4.2 Web コンソールによる初期設定」 「4.2.1 ユーザアカウントの設定」 「(2) 「ユーザアカウント設定」画面」 (P.27)

補足に次の内容を追加



■ パスワードとして使用できる文字は先頭を含めて、「ASCII コード中の表示可能文字 (0x21-0x7e) 」です。

- ・ 「4 Web コンソールの使用方法」 「4.4 Web コンソールの設定項目」 「4.4.3 「Resources」タブー「Systems」」 「(3) 「IPMI」画面ー「IPMI ユーザアカウント」タブ」 (P.63)

誤

...

*2 「ユーザ名」は半角英数字で最大 32 文字までです。

...

正

...

*2 「ユーザ名」は半角英数字で最大 **16** 文字までです。

...

- ・ 「4 Web コンソールの使用方法」「4.4 Web コンソールの設定項目」「4.4.5 「Administration」タブ」「(12) 「証明書」画面」「CSR の作成とダウンロード」(P.101)

誤	<p>...</p> <p>*4 非構造体名称：最大 60 文字の英数字、記号を入力できます（省略可能です）。</p> <p>*5 証明書取消パスワード：最大 30 文字の英数字、記号を入力できます（省略可能です）。</p> <p>...</p>
正	<p>...</p> <p>*4 非構造体名称：最大 60 文字の英数字、記号を入力できます（省略可能です）。 使用できる記号は次のとおりです。 <u>空白記号、'（アポストロフィ）、-（ハイフン）、,（カンマ）、=（イコール）、/（スラッシュ）、()（括弧）、.（ピリオド）、:（コロン）、+（プラス）、?（クエスチョン）。</u></p> <p>*5 証明書取消パスワード：最大 30 文字の英数字、記号を入力できます（省略可能です）。 使用できる記号は次のとおりです。 <u>空白記号、'（アポストロフィ）、-（ハイフン）、,（カンマ）、=（イコール）、/（スラッシュ）、()（括弧）、.（ピリオド）、:（コロン）、+（プラス）、?（クエスチョン）。</u></p> <p>...</p>

- ・ 「付録」「付録 C LDAP サーバ連携機能」「付録 C.3 Active Directory 環境設定」「BMC ログイン用ユーザーアカウントの登録」「パスワード」(P.215)

誤	<p>...</p> <p>使用可能文字（先頭）：ASCII コード中の表示可能文字（0x20-0x7e）</p> <p>...</p>
正	<p>...</p> <p>使用可能文字（先頭）：ASCII コード中の表示可能文字（0x21-0x7e）</p> <p>...</p>

「Windows Server 2008 R2 インストール代行サービス付モデル」の販売開始について

Windows Server 2012 R2 プレインストールモデルにおいて、Windows ダウングレード権に基づき、Windows Server 2008 R2 をお客様に代わってインストールする「インストール代行サービス付モデル」の販売開始しました。

インストール代行サービスのサービス内容は、システム装置に添付される「Windows Server 2008 R2 インストール代行サービス仕様書」をご参照ください。

Windows Server 2008 R2 プレインストールモデルとの相違点

- Windows Server 2012 R2 プレインストールモデルがベースとなります。
このため、システム装置に貼り付けられる COA ラベルは、Windows Server 2012 R2 のものとなります。
また、Windows Server 2012 R2 のインストールメディアも添付されます。
- Windows Server 2008 R2 のインストールメディアは、「Windows® メディアキット」となります。
プレインストール用メディアと異なり、Windows® メディアキットは SP1 適用済みメディア（スリッブストリームメディア）となります。
- Windows® メディアキットで OS をインストールする場合、ライセンス認証（アクティベーション）が必要となります。
ライセンス認証に必要なプロダクトキー（Physical key / Virtual key）は、Windows® メディアキットとともに提供されます。

Windows Server 2008 R2 インストール代行サービス付モデルの注意点

マニュアルは、「Windows Server 2008 R2 プレインストールモデル」の記述を「Windows Server 2008 R2 インストール代行サービス付モデル」に読み替えてください。

なお、OS インストールメディア（セットアップ DVD）は次のとおり読み替えてください。

対象 OS	対象 DVD-ROM
Windows Server 2008 R2 Standard	Windows Server 2012 R2 プレインストールモデル（インストール代行サービス付モデル）付属の Windows® メディアキット：Windows Server 2008 R2 Standard 用『Microsoft® Windows Server 2008 R2』DVD-ROM
Windows Server 2008 R2 Enterprise	Windows Server 2012 R2 プレインストールモデル（インストール代行サービス付モデル）付属の Windows® メディアキット：Windows Server 2008 R2 Enterprise 用『Microsoft® Windows Server 2008 R2』DVD-ROM